



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月14日

上場会社名 株式会社アカツキ 上場取引所 東
 コード番号 3932 URL http://aktsk.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 元規
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理事業部長 (氏名) 小川 智也 TEL 03 (5422) 7757
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,421	82.1	1,766	99.0	1,697	101.5	1,173	126.0
28年3月期第2四半期	2,428	—	887	—	842	—	519	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,168百万円 (127.6%) 28年3月期第2四半期 513百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	86.74	80.77
28年3月期第2四半期	46.08	—

- (注) 1. 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 平成28年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できず記載しておりません。
 3. 当社は平成27年10月30日付で普通株式1株及びA種優先株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、平成28年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。なお、1株当たり四半期純利益の算定上、A種優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,336	8,506	68.6
28年3月期	9,136	7,302	79.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 8,464百万円 28年3月期 7,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	34.4	2,000	△6.8	1,900	△3.7	1,200	7.9	88.67
	～9,000	～51.1	～3,000	～39.7	～2,900	～46.9	～1,900	～70.8	～140.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	13,533,200株	28年3月期	13,531,700株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	ー株	28年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	13,532,143株	28年3月期2Q	11,272,600株

(注) 1. 当社は平成27年10月30日付で普通株式1株及びA種優先株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、平成28年3月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して期中平均株式数を算定しております。なお、A種優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、A種優先株式を普通株式と同等の株式として含めております。

2. 当社は平成27年11月12日付をもって、株主の請求に基づきA種優先株式の全て（818,100株）を取得し、対価として普通株式818,100株を交付しております。なお、当社が取得したA種優先株式については平成27年11月30日開催の取締役会決議に基づき同日付をもって全て消却しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

当社は平成28年11月14日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による景気対策や日銀による金融政策を背景に緩やかな回復基調が見られたものの、中国経済の動向や英国のEU離脱問題をはじめとした海外景気の先行きに対する懸念が高まるなど、先行き不透明な状況にあります。

当社グループが属するソーシャルゲーム業界を取り巻く環境については、高速データ通信に対応した携帯電話の契約数が、平成27年9月末時点において1億2,723万件となるとともに、スマートフォン及びタブレット端末によるインターネット利用が急増しております。中でも、スマートフォンが順調に普及し契約数が7,237万件となり、端末契約数に占める割合は56.9%となりました。(出典：株式会社MM総研「スマートフォン・MVNOの月額利用料とサービス利用実態(2015年12月)」)

このような環境の中、当社グループは、既存タイトルの拡大と新規タイトルの投入に注力してまいりました。当第2四半期連結累計期間においても継続して、ネイティブアプリの開発及び運用に経営資源を集中しており、平成25年7月に「シンデレライレブン」、平成25年11月に「サウザンドメモリーズ」、平成26年3月に株式会社バンダイナムコスタジオとの共同開発案件である「テイルズ オブ リンク」(株式会社バンダイナムコエンターテインメント提供)、平成27年1月に株式会社バンダイナムコエンターテインメントとの協業タイトルである「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」をリリース後、順調にユーザー数が増加しております。特に「サウザンドメモリーズ」に関しては、幅広い年齢層からの支持を受け、平成28年9月末時点で累計1,000万ダウンロードを超える人気アプリへと成長しました。また、「テイルズ オブ リンク」については、国内外累計212万ダウンロード、「ドラゴンボールZ ドッカンバトル」については、国内外累計で9,000万ダウンロードに達しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,421,512千円(前年同期比82.1%増)、営業利益1,766,215千円(同99.0%増)、経常利益1,697,926千円(同101.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,173,812千円(同126.0%増)となっています。

当社グループは、全セグメントに占める「モバイルゲーム事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメントごとの記載はしておりません。また当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ソーシャルゲーム事業」から「モバイルゲーム事業」に名称を変更しております。なお、当該名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて3,199,742千円増加し12,336,087千円となりました。主な要因として、現金及び預金の増加2,326,255千円、売掛金の増加94,123千円、新規のゲーム開発によるソフトウェアの増加215,593千円、株式会社そとあそびの子会社化に伴うのれんの増加202,617千円、投資その他の資産の増加309,959千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1,995,325千円増加し、3,829,468千円となりました。主な要因として、長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加1,864,306千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1,204,417千円増加し8,506,618千円となりました。主な要因として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加1,173,812千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今期につきましては、中長期的な企業価値向上のための投資フェーズと見込んでおります。

具体的には、ソーシャルゲームの国内外向け新規タイトルの開発だけでなく、ゲーム周辺事業への垂直・水平展開や、VR(仮想現実)、AR(拡張現実)など新しい技術への投資・取組みを実施することにより、エンターテインメント事業として更なる成長を目指します。

また、新規事業としましては、新たに開始したライブエクスペリエンス事業をはじめ、第三次産業(医療、教育、人材領域、地方創生など、以下「リアルライブ領域」という。)において、ゲーム事業の強みである「人の心を動かす仕組み」を活用し、コンテンツとプラットフォームの両方の観点で新規サービスを展開するための投資を積極的に行ってまいります。

そのため、かかる事業環境の変化及び投資の進捗状況により、売上・損益の変動がより大きくなることが想定されるため、レンジによる連結業績予想を採用しております。なお、平成28年5月12日に公表いたしました連結業績予想レンジを変更しております。詳細につきましては、本日(平成28年11月14日)公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社そとあそびについて連結財務諸表に関する会計基準等における支配力基準により子会社に該当することとなりましたので、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を平成28年6月30日に行っているため、第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しており、当第2四半期連結会計期間より損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書を連結しております。また株式会社そとあそびの決算日は2月末日であり、四半期連結財務諸表の作成にあたっては、四半期連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,453,013	8,779,269
売掛金	1,601,526	1,695,650
その他	431,297	311,609
流動資産合計	8,485,837	10,786,529
固定資産		
有形固定資産	109,245	280,126
無形固定資産		
ソフトウェア	55,991	271,584
のれん	—	202,617
無形固定資産合計	55,991	474,201
投資その他の資産	485,269	795,229
固定資産合計	650,507	1,549,557
資産合計	9,136,344	12,336,087
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	190,230	242,066
1年内返済予定の長期借入金	164,688	541,984
未払法人税等	543,028	499,757
その他	527,496	644,603
流動負債合計	1,425,444	1,928,412
固定負債		
長期借入金	408,699	1,895,709
その他	—	5,347
固定負債合計	408,699	1,901,056
負債合計	1,834,143	3,829,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,706,558	2,707,384
資本剰余金	2,705,558	2,706,384
利益剰余金	1,890,573	3,064,386
株主資本合計	7,302,691	8,478,155
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,289	△13,705
その他の包括利益累計額合計	△5,289	△13,705
新株予約権	4,799	3,149
非支配株主持分	—	39,019
純資産合計	7,302,201	8,506,618
負債純資産合計	9,136,344	12,336,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,428,502	4,421,512
売上原価	891,513	1,352,278
売上総利益	1,536,988	3,069,233
販売費及び一般管理費	649,389	1,303,018
営業利益	887,599	1,766,215
営業外収益		
受取利息	255	376
助成金収入	—	800
その他	84	870
営業外収益合計	340	2,046
営業外費用		
支払利息	726	2,395
為替差損	3,447	33,992
持分法による投資損失	41,021	—
賃貸費用	—	32,385
その他	—	1,561
営業外費用合計	45,195	70,335
経常利益	842,744	1,697,926
特別損失		
本社移転費用	—	100,921
特別損失	—	100,921
税金等調整前四半期純利益	842,744	1,597,004
法人税等	323,337	420,252
四半期純利益	519,407	1,176,752
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,940
親会社株主に帰属する四半期純利益	519,407	1,173,812

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	519,407	1,176,752
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△6,112	△8,415
その他の包括利益合計	△6,112	△8,415
四半期包括利益	513,294	1,168,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	513,294	1,165,396
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,940

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	842,744	1,597,004
減価償却費	65,054	37,596
のれん償却額	—	10,664
本社移転費用	—	100,921
受取利息及び受取配当金	△255	△376
支払利息	726	2,395
為替差損益(△は益)	—	29,716
持分法による投資損益(△は益)	41,021	—
売上債権の増減額(△は増加)	△26,791	△81,243
その他の資産の増減額(△は増加)	△43,969	117,454
仕入債務の増減額(△は減少)	△27,387	47,828
その他の負債の増減額(△は減少)	△500,347	69,414
その他	2,110	4,946
小計	352,905	1,936,323
利息及び配当金の受取額	255	376
利息の支払額	△776	△2,395
法人税等の支払額	△109,571	△474,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	242,813	1,460,151
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41,973	△240,335
無形固定資産の取得による支出	△219,464	△241,609
投資有価証券の取得による支出	—	△74,910
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△176,937
貸付けによる支出	—	△40,000
敷金及び保証金の差入による支出	△24,060	△196,225
敷金及び保証金の回収による収入	—	8,962
その他	△4,900	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290,398	△960,996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△67,500	—
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△38,616	△135,694
その他	—	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,116	1,864,307
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,230	△37,206
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△159,931	2,326,255
現金及び現金同等物の期首残高	2,060,396	6,353,013
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,900,465	8,679,269

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報等】

当社グループは、全セグメントに占める「モバイルゲーム事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。また当第2四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「ソーシャルゲーム事業」から「モバイルゲーム事業」に名称を変更しております。なお、当該名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。